

豊島区景観資源指定の新しい選定方法(案)について

1. 豊島区景観資源指定の経緯および令和3年度の検討課題について

● 平成30年度

景観まちづくり推進のため、『豊島景観百選(アンケート)』を実施

※ 豊島景観百選…個性ある美しい景観まちづくりの推進のため、広報としまや、ホームページ、各種啓発事業の場において、景観資源の掘り起こしを目的として、「ゆとりと潤いのある街並みを創出しているもの」「歴史的・文化的な景観に寄与しているもの」「人々の生活・営みの魅力が感じられるもの」などの『区内で良好だと思ふ景観』と『その理由』を募集した平成30年度実施のアンケート。103件回答があり、重複等により最終的に豊島景観百選として40件を選定。

● 平成31年度

豊島景観資源指定の「祭事、催しその他の行事」を指定出来るという制度の特色を活かし、豊島景観百選より豊島区景観資源を指定

- ・ 雑司が谷鬼子母神の御会式万灯練供養(第1号)
- ・ ふくろ祭り(第2号)

● 令和2年度

今後も景観資源を指定していくにあたり、指定方針を景観審議会等で整理・検討。指定方針に基づき、豊島景観百選より指定候補決定

【指定方針】

- 1:地区特性に着眼して指定
- 2:景観構成要素に着眼して指定
- 3:無形を指定できる豊島区景観資源の特色に着眼して指定

【指定候補】

- ・ 門と蔵のある広場および旧丹羽家腕木門
- ・ 私の庭みんなの庭
- ・ 大塚駅南口駅前広場(トランパル大塚)

● 令和3年度

【現状】

- ・池袋駅周辺を始めとした新たなまちづくりが進行中
- ・他の法制度等で既に良好な景観形成への寄与が認められている
→従来の豊島景観百選を基にした選定方法での豊島区景観資源の指定が難しい状況
- ・景観資源指定候補を増やすため新たに豊島景観百選を募集
→コロナ禍において、意見聴取の場でもある景観啓発事業の実施が困難な状況継続



【新たな選定方法の検討】

- ・従来の区民募集と両輪で、まちづくり事業を担う区の視点からも指定候補を選定
- ・「東アジア文化都市開催記念 23のまちづくり記念事業」が完成した時機でもあり、その事業成果も踏まえて指定候補を選定
- ・指定候補選定経過の段階において、景観審議会委員の意見聴取等を実施

2. 豊島区景観資源指定の新しい選定方法およびスケジュール(案)

【 候補抽出 】 〈区民募集〉および〈事務局推薦〉より 指定候補一覧 作成

- 令和3年12月(予定)
豊島区景観審議会にて指定候補一覧報告

〈 区民募集 〉

- ◆令和3年度は実施せず
- ◆令和4年度以降にコロナの状況等を踏まえたうえで、改めて豊島景観百選の追加募集について実施方法等を含めて検討

〈 事務局推薦 〉

- ① 23のまちづくり記念事業より候補抽出 [都市計画課]
- ② 各課所管の公共施設等より候補抽出(推薦依頼)
 - 既存建築施設 ●既存土木施設 ●既存文化・歴史施設

指定候補一覧

【 指定候補選定 】

- 令和4年1月(予定)
指定候補一覧より事務局にて10件(程度)に選定したものを学識経験者(景観審議会デザイン検討部会委員)に確認および意見聴取
 - ⇒必要により指定候補個所の追加および削除
 - ⇒投票対象の指定候補決定

【 意見聴取・投票 】

- 令和4年2月(予定)
選定した指定候補10件(程度)について、景観審議会委員に意見聴取・投票
 - ⇒令和3年度指定予定箇所(数件程度)を決定
 - 景観審議会委員 学識経験者 6名、関係団体 6名
区議会議員 6名、区民委員 2名

【 指定手続 】

- 令和4年2月～3月
景観審議会委員の意見聴取等の結果により決定した指定箇所について豊島区景観資源指定に関する手続(同意書取得)

【 報告／指定 】

- 令和4年3月下旬(予定)
 - ◆景観審議会にて報告後、豊島区景観資源に指定(区長決裁)
 - ◆所有者(所管課)に、豊島区景観資源指定通知書送付